

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

刈谷市は ゼロカーボンシティ を目指します

本市のこの表明に関して、環境大臣からメッセージをいただきました。



愛知県刈谷市長 稲垣 武 殿

貴市におかれましては、この度、地方公共団体として2050年の温室効果ガスの排出量実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指すことを表明されました。今回の貴市の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で569地方公共団体となりました。我が国としての2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大変心強く感じております。

近年、国内各地で大規模な災害が多発しているところですが、地球温暖化の進行に伴い、今後、気象災害の更なる頻発化・激甚化などが予測されております。こうした私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われている気候変動問題に対処するため、2050年カーボンニュートラルの実現を目指す必要があります。

現在、政府としては、2050年カーボンニュートラルや2030年度46パーセント排出削減目標の達成に向け、再生可能エネルギーの最大限の導入などを掲げ、我が国の成長戦略の柱の一つとしているところです。

環境省としても、脱炭素社会、循環経済、分散型社会への3つの移行を推進し、今までの延長線上ではない、社会全体の行動変容を図ってまいります。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、今後30年間のうち、とりわけこの5年間、10年間が重要です。このため、地域脱炭素ロードマップに基づき、脱炭素先行地域づくりや、脱炭素の基盤となる重点対策の全国実施を進めていく必要があります。貴市及び他のゼロカーボンシティと連携しながら、地域脱炭素の更なる具体化・加速化を進めてまいります。

環境大臣 **山口 壯**



今こそ知りたい SDGs

市長からのメッセージ



令和4年2月17日開催の3月定例会で、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」として、市民や事業者の皆さんと一体となって取り組むことを表明しました。

市民や事業者の皆さんには、地球温暖化対策を含め本市の環境行政に、これまで以上のご理解とご協力をお願いいたします。

世界を変えるみんなの目標 ～わたしたちにできること～

最近、新聞やニュースでよく耳にするSDGsという言葉。SDGsは、私たちとその先の世代が安全に、安心して地球で暮らし続けられる、より良い未来を実現するために欠かせない17の大切な目標です。私たちが普段何気なく行っていることでも、SDGsの達成に貢献できることはたくさんあります。国、地域、企業だけでなく、一人一人の行動がとても大切です。

この特集では、3つの大きな目標の「経済」「社会」「環境」のうち、私たちにとって身近な「環境」を中心に、暮らしの中でできる取組や参加できる講座などを紹介します。これからの地球のこと、刈谷のこと、一緒に考えてみませんか？

問 環境推進課 (☎62-1017)